樹脂製竹垣 竹つづり 新日軽

マニュアル番号 ME-1558

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。 施工完了後はお施主様へお渡しください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

絵 表 示	意 味	絵 表 示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを すると使用者が負傷する危険や物的損 害の発生することを表しています。	0	「必ず行なっていただくこと」を 示しています。

⚠注意

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。 防護柵や 手すり等として使用しないでください。フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- ●フェンスに雨具・洗濯物・布団等を掛けないでくだ

使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール(水でうす めたもの)には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、 濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油 類は、使用しないでください。
- フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。 スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると 変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源では着火しにくくなっていますが、 火気には十分にご注意ください。 又、70℃以上に なると変形しますので、近くで焚火をしたり高温の ものを近付けたりしないでください。
- 表面が汚れた時は水洗いしてください。洗剤を使用 する際は中性洗剤を水でうすめて使用し、よく水で 洗い流して拭きとってください。

樹脂製品のお手入れ方法について

年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。 ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手 入れの回数を増やしてください。 汚れが軽い場合:やわらかい布かスポンジで水ぶきし た後に空ぶきしてください。

汚れが目立つ場合:中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては 異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含 まれていますから腐食の原因になりますので、その使用 を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してく ださい。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、し みやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので 工事中に商品の表面に流れないように注意してくださ 61
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進 作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩 化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の 入っていないものを使用してください。
- (4) 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリー ト等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面に キズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには 十分注意してください。

- (5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてくだ さい。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか 塗料等で絶縁処理をしてください。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用 する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていた だくか、接触する部分を完全に養生してください。
- (7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれ ているものがありますので、その使用を避けていた だくか、アルミと接触する部分には木材に塗装する ようにしてください。
- (8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように 施工時に注意してください。
- (9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また 寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- (10) 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチング の大きさを考慮してください。

*汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

目 次 使用上のご注意について・・ • P1 ②段違い納まりの場合・・・・・・ ②立子連結キャップ・立子キヤップの取付け・・P8 ②端柱部の納まり・・・・・・・・・P8 梱包明細・・・・・・・・・・ 多段納まりの場合のパネル組合せ・ • P3 異なるデザインパネル上下の組合せ・ · • P3 3柱キャップの取付け・ • P9 ④笠竹の取付け・・・・・・・・P9 □フェンスの切り詰め・・・・・・・P10~11 □シュロ縄のむすび方・・・・・・・P12 ②パネルの吊り込み ·P6~7

梱包明細

パネル本体

Г	部材名称	両面·片面		ル寸法	入数	祖包内容	
L	ms to mas	1-500, 7 1,007	巾区分	高さ区分	XQX	IN COLUMN	
Г				600用	1枚		
l		岡面	2000用	900用	1枚		
l	パネル本体			1200用	1枚	パネル①	
建	/ ハイハ/ 本 本			600用	1枚	7 11700	
仁		片面	1000用	900用	1枚		
建仁寺垣				1200用	1枚		
_		商面	2000用	共通	1本	笠竹①、笠竹受け金具@、Φ4×13セルフドリリングビス@	
l	笠竹部材	[43] [23]	1000用	共通	1本	笠竹①、笠竹受け金具②、Φ4×13セルフドリリングビス②	
l	77.110110	片面	2000用	共通	1本	笠竹①、目隠し割竹①、笠木受け金具④、Φ4×13セルフドリリングビス®	
ᆫ		/ ()441	1000用	共通	1本	笠竹①、目隠し割竹①、笠竹受け金具②、Φ4×13セルフドリリングビス④	
Г			2000用	600用	1枚		
l	パネル本体	両面	2000/19	900用	1枚	パネル①	
細		,-,,,,,,,	1000用	600用	1枚	7 -170	
御殿垣				900用	1枚		
垣	 丸竹ジョイ	ントセット	2000用	共通	4個	丸竹2連ジョイント④	
ı	7-017 2 1		1000用	共通	2個	丸竹2連ジョイント②	
1	丸竹キャツ	ブセット	2000用	共通	8個	丸竹キャップ⑧	
L	, , , , ,		1000用	共通	4個	丸竹キャップ④	
消水垣	パネル本体	画面	2000用	600用	1枚	パネル①	
垣		,-,,		900用	1枚		
四	パネル本体	両面	2000用	600用	1枚	パネル①	
				900用	1枚		
眉	丸竹ジョイ		2000用	共通	1式	丸竹2連ジョイント④、丸竹1連ジョイント⑥	
L	丸竹キャッ	ノブセット		共通	14個	丸竹キャップ@	
大津垣	パネル本体	両面	2000用	600用	1枚	パネル①	
				900用	1枚		
龠			00000	600用	1枚	/*→ II ♠	
金閣受垣	パネル本体	両面	2000用	900用	1枚	パネル①	
				/ 13	' ' ^		
黌	ا عد جو ان جوجي ا	***	2000	600用	1枚	パラリの かなの ホムン20七リコピロリングピラの	
竜安寺垣	パネル本体	両面	2000用	900用	1枚	√ パネル①、笠竹①、 Φ4×30セルフドリリングビス③	
坦		1		300/19	111		

間柱

※段数の()内は、建仁寺垣 の場合を表す。

٦		++ / ~	7	· · · · · ·		
i	枘まり	サイス 高さ区分		部材名称	入数	梱包内容
H		同じ区方	PXXX	間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、M4×10トラスビス②
				端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具名の、M4×10トラスビス⑩、取付マニュアル
1		600用	1段	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、M4×10トラスピス②
	ブロ			丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、Φ4×13セルフドリリングビス③、M4×10トラスビス②
	ロッ			間柱	1本	柱の、キャップの、上下金具各②、M4×10トラスビス②
ı	5		4.50	端柱(左右なし)	1本	柱の、キャップの、上下金具各の、M4×10トラスピス®、取付マニュアル
	納	900用	1段	角柱(90'専用)	1本	柱(1)、キャップ(1)、上下金具各(2)、M4×10トラスピス(2)
ı	ク納まり			丸柱(角度自在)	1本	柱(1)、キャップ(1)、上下金具各(2)、Φ4×13セルフドリリングビス(3)、M4×10トラスビス(2)
١	1			間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスビス②
ı		10000	2段	端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具名①、中間金具①、M4×10トラスビス⑩、取付マニュアル
ı		1200用	(1段)	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスピス②
ı				丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具② Φ4×13セルフドリリングビス③、M4×10トラスビス②
Г				間柱	i本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスピス②
ı		15000	2段	端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金具①、M4×10トラスビス⑩、取付マニュアル
ı		1500用	乙炔	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスビス②
ı			1	丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、Φ4×13セルフドリリングビス③、M4×10トラスビス②
ı			2段	間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスピス②
ı		1000		端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金具①、M4×10トラスピス⑩、取付マニュアル
1		1800用	Z FX	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、M4×10トラスピスØ
1				丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、Φ4×13セルフドリリングビス⑥、M4×10トラスビス⑦
1	独			間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピス@
1	独立納まり	2100用		端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金具②、M4×10トラスピス②、取付マニュアル
П	納	2100/13	(2段)	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピス⑩
ı	ij			丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具②、Φ4×13セルフドリリングビス⑥、M4×10トラスビス❷
ı				間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピス@
ı		2400用		端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金具②、M4×10トラスビス②、取付マニュアル
ı		2400/13	(2段)	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピスØ
ı				丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、Φ4×13セルフドリリングビス⑥、M4×10トラスビス◎
ı				間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピス⑩
ı		2700用	3.E&	端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金具②、M4×10トラスピス③、取付マニュアル
ı		[, 00,75		角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具④、M4×10トラスピス②
1			L	丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各② 中間金具④、Φ4×13セルフドリリングビス⑥、M4×10トラスビス⑩
1				間柱	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具⑥、M4×10トラスピス®
1		3000用		端柱(左右なし)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、中間金貝③、M4×10トラスピス③、取付マニュアル
1		[(3段)	角柱(90°専用)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具⑥、M4×10トラスビス®
L			İ	丸柱(角度自在)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各② 中間金具⑥、Φ4×13セルフドリリングビス⑥、M4×10トラスビス図

切詰め用 端部カバー

部材名称	パネル	寸法	入数	個包内容	
即物合物	巾区分	高さ区分	人女人	1207日	
		600	2本		
建仁寺垣用	両面·片面	900	2本	端部カバー②、押え竹ブラケット①、ピスセット①	
		1200	2本		
御簾垣用	西面	600	2本	端部カバー②、丸竹ガイド②、ビスセット①	
脚床垣門	回田	900	2本		
清水垣用	両面	600	2本		
周小坦用	回田	900	2本	端部カバー②、ビスセット①	
四ツ目垣用	両面	600	2本		
四万日埠市	lm) (EII	900	2本		
大津垣用	両面	600	2本	端部カバー②、ビスセット①	
人库坦用	lealter	900	2本	新郎カバー②、こスピット①	
金閣寺垣用	両面	600	2本	 端部カバー②、押え竹ブラケット①、ピスセット①	
业场守运用	Im) IIII	900	2本	病部カハーは、押え11ノフケットの、とスセットの	
竜安寺垣用	両面	600	2本	端部カバー②、ビスセット①	
电女子坦用	144) [81]	900	2本	姉中ハハービ、レスピノトリ	

多段納まりの場合のパネル組合せ

異なるデザインパネル上下の組合せ

全高	高:1200	高: 1500	高: 2100		
段数	2	2			3
必要パネル			900 (1200	1200	000 600 900
全高		高:2400	高:2700	高: 3000	
全高段数	2	高: 2400 3	高: 2700 3	高: 3000 3	4

下段上段	建仁寺垣	御簾垣	金閣寺垣	四つ目垣	清水垣	大津垣	竜安寺垣
建仁寺垣	0	×	0	×	0	0	0
御簾垣	0	0	0	0	0	0	0
金閣寺垣	0	×	0	×	0	0	0
四つ自垣	0	0	×	0	0	0	0
清水垣	0	0	0	0	0	0	0
大津垣	0	0	0	0	0	0	0
竜安寺垣	0	0	0	0	0	0	0

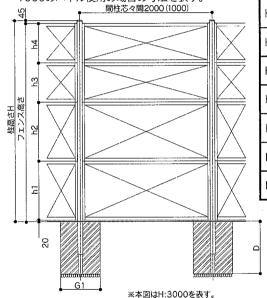
※パネル上下の組合せは、出来るパターンと出来ない パターンがあります。上記の○は可、×は不可

注1) 建仁寺垣と金閣寺垣の組合せは不可。 ※h:1200のパネルは、建仁寺垣パネルのみ。

納まり図

注)

()内寸法は、建仁寺垣、御簾垣パネル巾区分1000のパネル使用の場合の寸法を表す。



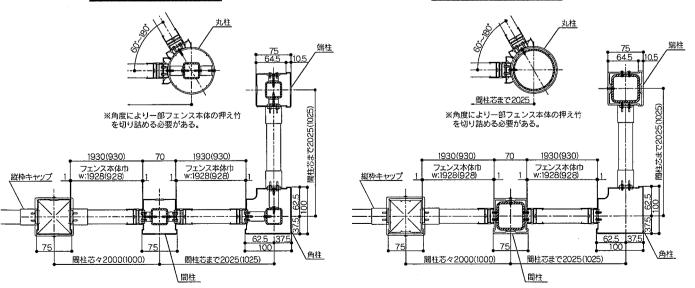
呼称サイズ	パネル区分	パネル本体h1	パネル本体h2	パネル本体h3	パネル本体h4	柱高さ(H)	埋込みD	備考
11,600	建仁寺垣	600				665	150	1段納まり
H:000	H:600 その他竹垣	600				665	150	1段納まり
11.000	建仁寺垣	900				965	150	1段納まり
H:900	その他竹垣	900				900	150	1段納まり
H:1200	建仁寺垣	1200				1265	190	1段納まり
П.1200	その他竹垣	600	600			1200	190	2段納まり
H:1500	建仁寺垣	900	600			1565	300	2段納まり
H: 1500	その他竹垣	900	600					2段納まり
H:1800	建仁寺垣	1200	600			1865	300	2段納まり
H:1000	その他竹垣	900	900					2段納まり
H:2100	建仁寺垣	1200	900			2165	500	2段納まり
П.2100	その他竹垣	900	600	600		2103	300	3段納まり
11.0400	建仁寺垣	1200	1200			2465	800	2段納まり
H:2400	その他竹垣	900	900	600		2403	800	3段納まり
11.0700	建仁寺垣	900	1200	600		076E	800	3段納まり
H:2700	その他竹垣	900	900	900		2765	800	3段納まり
H:3000	建仁寺垣	1200	1200	600		3065	800	3段納まり
п.3000	その他竹垣	900	900	600	600	3003	800	4段納まり

※パネル最上段が建仁寺垣、金閣寺垣、竜安寺垣パネルの場合 フェンス高さに下記の笠竹寸法が加わります。

「建仁寺垣、金閣寺垣・・・48.5mm⁻」 | 竜安寺垣・・・・・・・15mm _

ブロック施工納り (H:12以下)

独立施工納り (H:15以上)



SHINNIKKEI — 3 — EXTERIOR

組立手順

1 柱の施工(仮固定)



ブロック施工、埋込施工共コン クリート打ちはパネル吊り込み 後、位置を決めてから行ってく ださい。

ブロック施工仕様

●右図を参考に柱を埋込んでく ださい。

●丸柱の施工は、パネル取付け 角度に合わせアタッチメント を丸柱にビス止め後施工して ください。 (片側のみ、もう片側は取付け

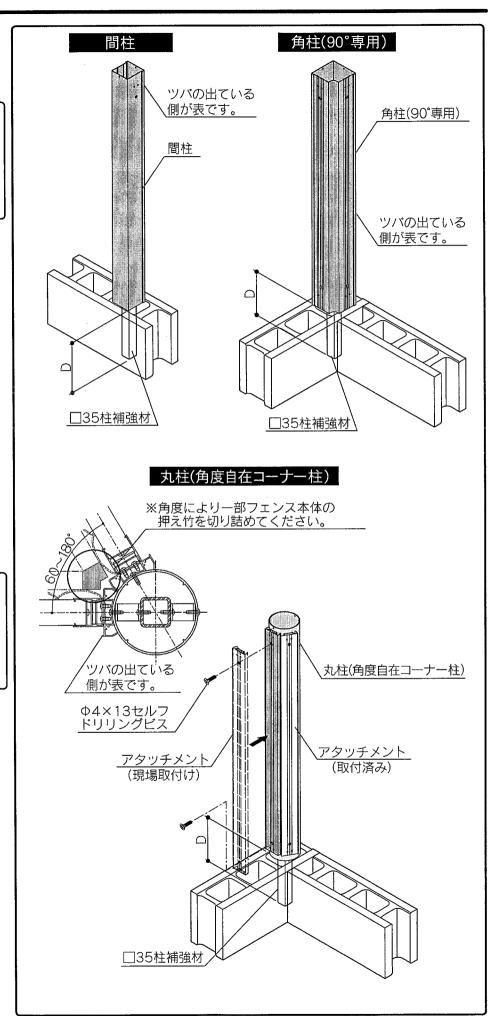
(片側のみ、もう片側は取付け 済みです。)



丸柱の場合、取付け角度により 一部フェンス本体の押え竹が干 渉しますので、現場に合わせて 切り詰めてください。

埋込み深さは、下表を参照し てください。

呼称サイズ	パネル本体h	柱高さH	埋込みD
H:600	600	665	150
H:900	900	965	150
H:1200	1200	1265	190



SHINNIKKEI — 4 — EXTERIOR

独立施工仕様

●基礎ブロックサイズ及び柱の 埋込み寸法については、下表 を参照してください。

基礎ブロックサイズ

呼称サイズ	見付G1	見付G2	深さG3
H:1500	400	400	550
H:1800	400	400	650
H:2100	400	400	750
H:2400	600	600	800
H:2700	600	600	800
H:3000	600	600	800

●右図を参考に柱を埋込んでく ださい。

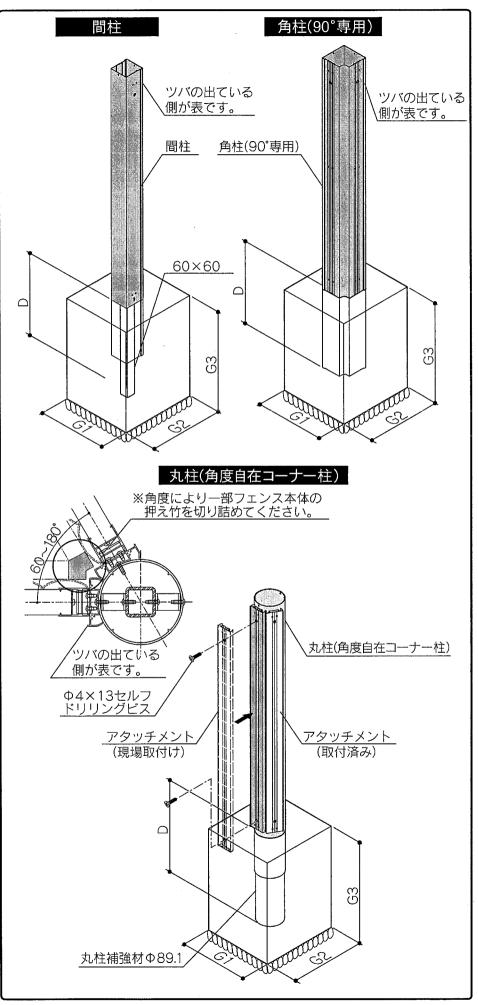
●丸柱の施工は、パネル取付け 角度に合わせアタッチメント を丸柱にビス止め後施工して ください。 (片側のみ、もう片側は取付け 済みです。)



丸柱の場合、取付け角度により 一部フェンス本体の押え竹が干 渉しますので、現場に合わせて 切り詰めてください。

柱の埋込み寸法

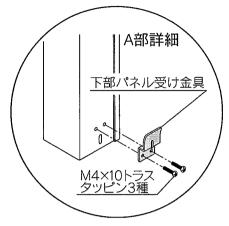
呼称サイズ	柱高さ(H)	間柱 丸柱 D	角柱(90°専用)D
H:1500	1565	300	300
H:1800	1865	300	300
H:2100	2165	500	500
H:2400	2465	800	500
H:2700	2765	800	500
H:3000	3065	800	500



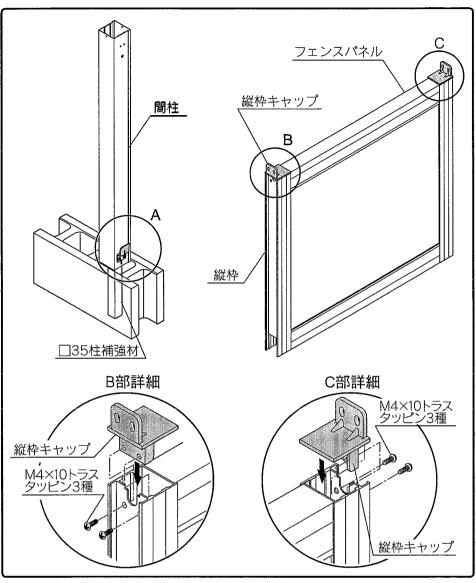
2パネルの吊り込み

パネル1段施工の場合

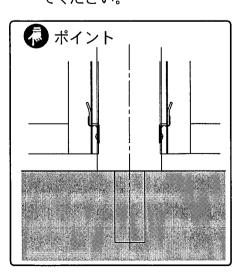
1)柱に下部パネル受け金具を M4×10トラスタッピン3種で 取付けてください。

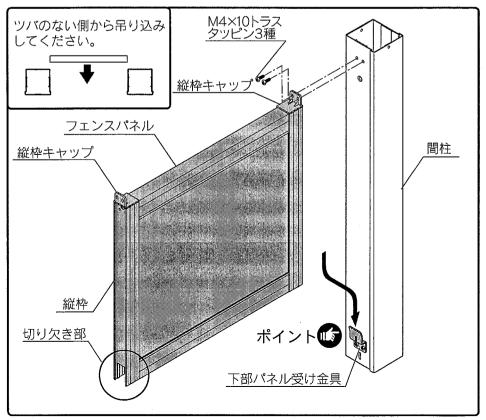


2) パネル縦枠上部に縦枠キャップを取付けてください。



- 3) パネル縦枠下部に設けられた 切り欠き部を図の様に間柱の 出っ張りのない側から下部パ ネル受け金具に差し込んでく ださい。
- 4) 縦枠キャップと間柱をM4×10 トラスタッピン3種にて固定し てください。





SHINNIKKEI — 6 — EXTERIOR

パネル多段施工の場合

- 1) P6の②-1) 同様に柱に下部パネル受け金具を取付けてください。
- 2) パネル1段目のパネル縦枠上 部に中間パネル受け金具を取 付けてください。
- ♬ ポイント

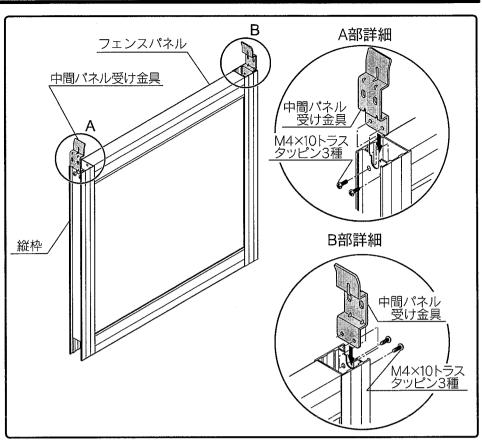
最上段パネル以外の、全ての パネルに中間パネル受け金 具が付きます。

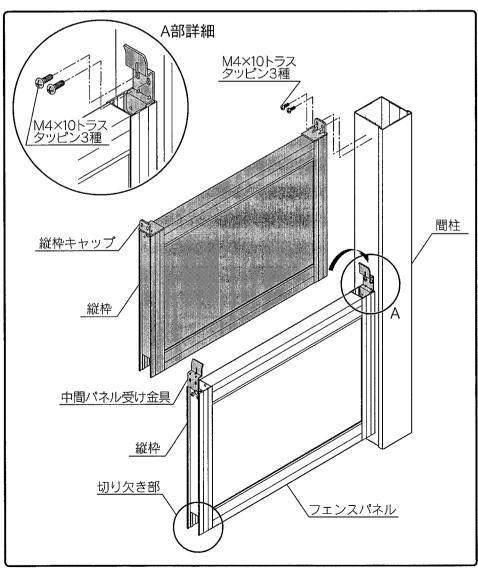
春 ポイント

御簾垣、四ツ目垣を2段目に取付ける場合、丸竹ジョイントを取付けてください。 詳細は、P8を参照してください。

- 3) パネル縦枠下部に設けられた 切り欠き部を図の様に下部パ ネル受け金具に差し込み、次 に中間パネル受け金具と間柱 をM4×10トラスタッピン3種に て固定してください。
- 4) 2段目以降のパネルも同様に 取付けます。
- ●上段:竜安寺垣 下段:建仁寺垣、金閣寺垣」 の場合 竜安寺垣パネル下部の割 竹は取り外してください。

5) 最上段パネルの場合、P62-2) の手順で縦枠キャップを取付けた後、縦枠キャップと間柱をM4×10トラスタッピン3種にて固定してください。





SHINNIKKEI 7 - EXTERIOR

段違い納まりの場合

1) 段違い納まりの場合も、取付け手順は基本的に同様です。

ポイント

段違いの段差は、P3の高さ別パネル組合せを参考に、右図のように段差をつけて施工してください。

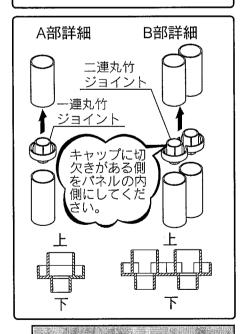
丸竹ジョイントおよび 丸竹キャップの取付け

御簾垣、四ツ目垣の場合

1) 図の様にパネルが2段以上と なる場合には、丸竹ジョイン ト及び最上段パネルには、丸 竹キャップを取付けてくださ い。

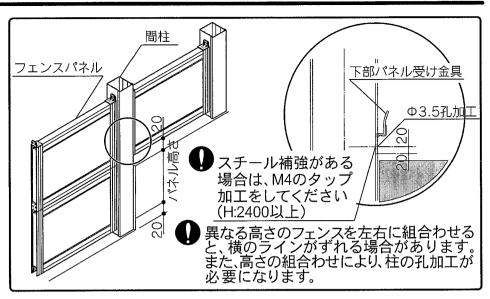
♬ ポイント

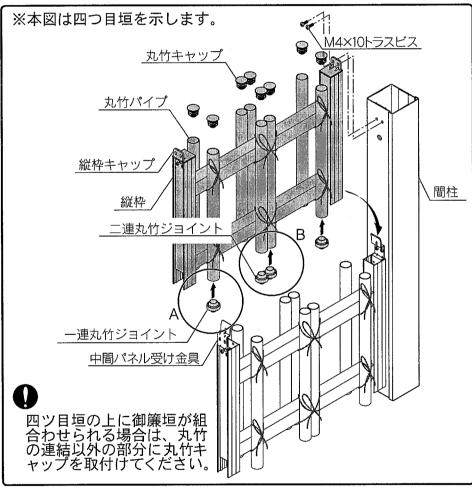
丸竹ジョイントは、必ず先に上パネルに取付けてください。

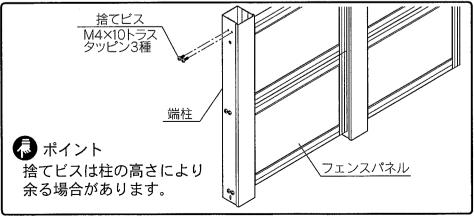


端柱部の納まり

1) フェンスパネルが取り付かな い側の端柱は、図の様に捨て ビスを打ってください。





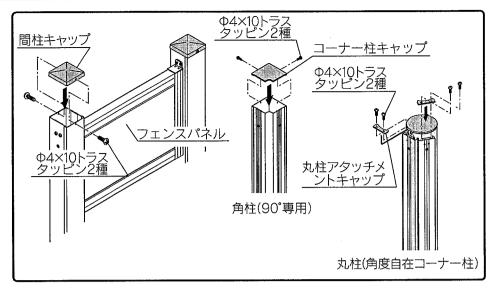


3 柱キャップの取付け

0

最上段が建仁寺垣、金閣寺垣、竜安寺垣の場合は、柱 キャップは笠竹の取付けよ り先に行ってください。

パネル本体を取付け終わりましたら、柱キャップを取付けてください。



4 笠竹の取付け

(建仁寺垣・金閣寺垣の場合)

笠竹は片面仕様と両面 仕様があります。

両面仕様の場合

1)フェンスパネル上部横桟に笠 木受けブラケットを取付けて ください。



笠木受けブラケットは、押え 竹ブラケットに接するよう に取付けてください。

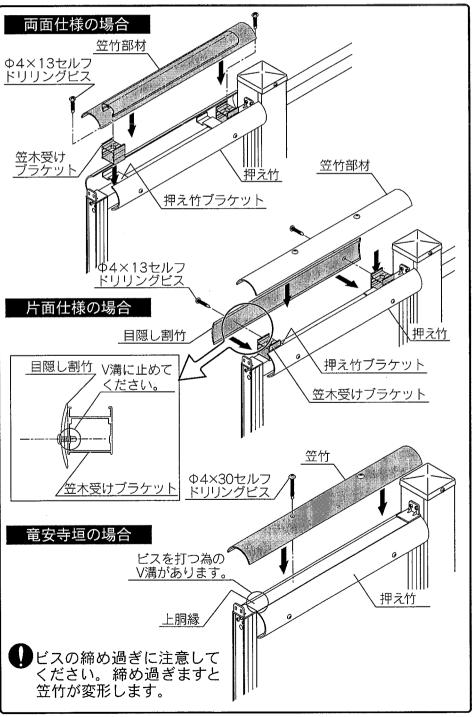
2) 笠竹部材を笠木受けブラケット に取付けてください。笠竹部 材はたたき込みになっていま すので、上から押し込みますと 取付けられます。

片面仕様の場合

1) 片面仕様の場合、目隠し割竹 をΦ4×13セルフドリリングビス にて笠木受けブラケットに取 付けてから笠竹部材を取付け てください。

竜安寺垣の場合

- フェンス最上段が竜安寺垣の場合は、パネルに同梱の笠竹を取付けてください。納まりにより、笠竹を使用しない場合があります。
- 竜安寺垣の場合、笠竹は上胴縁に直接Φ4×30セルフドリリングビスで取付けます。



5フェンスの切り詰め

※切り詰め用端部カバーは、フェンスを切断し2枚にして使用される際に必要です。単純な切り詰め時は不要です。

建仁寺垣パネル

●パネル本体を切断可能な状態 (ボードが外れる状態)まで分 解してください。

ポイント

切り詰めはボードの溝ピッチ(P=53.6mm)以外は不可。

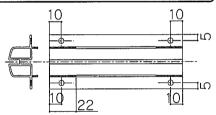
◆付属のビスでパネル、押え竹 を固定してください。(パネル 固定ビスは必ず横胴縁のある 所に打ってください。)

金閣寺垣パネル

●パネル本体を切断可能な状態 (横桟と押え竹が外れる状態) まで分解してください。

ᄸ ポイント

横桟は切断後、端部より10mmの位置にΦ4.5の孔加工、及び端部より22mmの位置で切り欠きをしてください。

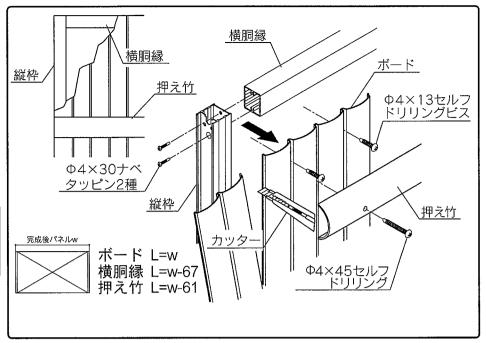


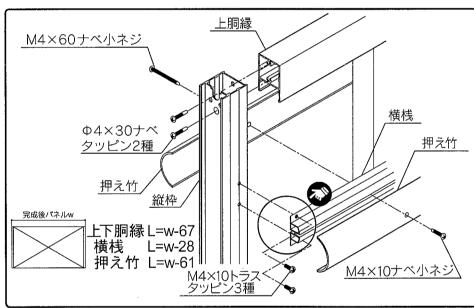
御簾垣、四ツ目垣パネル

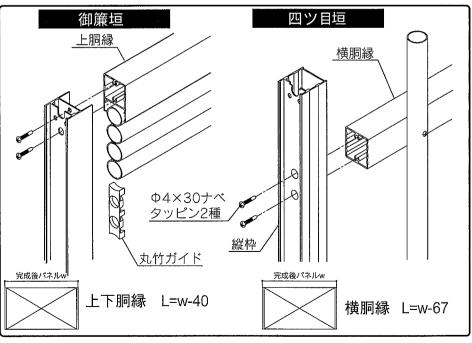
- ●パネルを樹脂パイプごと切断 し、縦枠を取付けてください。 (御簾垣の場合)
- ●横胴縁を切断してください。 (四ツ目垣の場合)

🚮 ポイント

御簾垣の場合、丸竹ガイドを パネル丸竹にセットしてか ら縦枠に取付けてください。 取付け位置は、シュロ縄の結 びがある位置の丸竹です。







清水垣パネル

- ●横丸竹をパネル本体から外してください。
- ●横丸竹の端部から13mmの位置 に、ビス止め用の下孔(Φ4.5) をあけてください。
- ●縦枠を上下胴縁とビス止めし、 横丸竹を縦枠にビスで固定し てください。

大津垣パネル

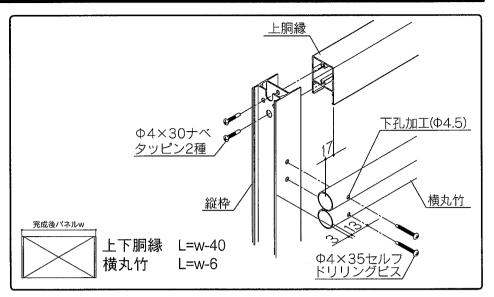
- ●押え竹をパネル本体から取外 してください。
- パネルを切断する部分の両側 のパイプを上下でビス固定し てください。(ビス固定しないで 切断するとパイプが外れる恐 れがあります。)
- パネルを切断し縦枠を、上下 胴縁及び横桟にビス止めして ください。
- ください。 ●押え竹の左右のチリ寸法を調 整してビスで固定してくださ い。
- ※押え竹固定ビスは、押え竹端部 から50mm以内で固定してくだ さい。
- ※押え竹寸法は、通常の切り詰め 時寸法です。1枚を2枚にして 使用する場合は少し短くなり ます。

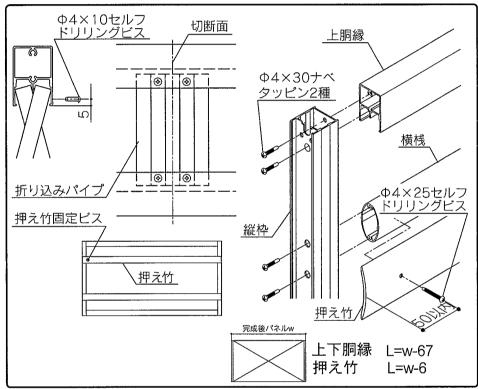
竜安寺垣パネル

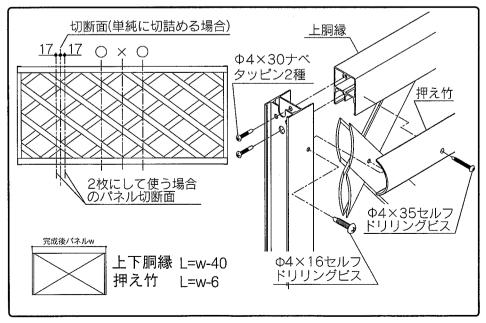
- ●上下胴縁の押え竹を取り外し てください。
- ●パネルを格子材の交差部分中 央で、切断してください。 (単純に切詰める場合)
- 上下胴縁と縦枠をビスで固定 してください。また、格子材と 縦枠とをビスで固定してくだ さい。
- ●押え竹を取付けてください。 押え竹の長さは、縦枠より3mm 内側に短くなります。

0

切断は、格子材が交差している部分でのみ可能です。 (P=375mm)







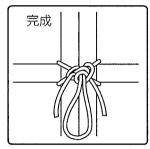
6シュロ縄のむすび方

1) 男結び(大津垣、竜安寺垣) $(1)\sim(4)$



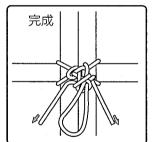
2) 飾り結び(建仁寺垣、御簾垣 四ツ目垣、清水垣)

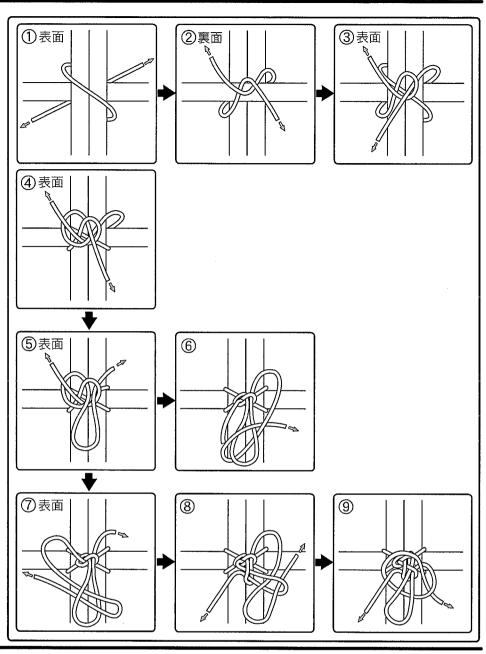
 $(1)\sim(4)\to(5)\to(6)$



3) 飾り三段結び(建仁寺垣笠竹、 竜安寺垣笠竹)

 $(1)\sim(5)\to(7)\to(8)\to(9)$





新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)

お客様商品相談室

フリーダイヤル

0120-37-2534

東日本エクステリア支店

03-5759-2211

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー23F)

・市場開発課 03-5759-2210

・景 観 課 03-5759-2212

西日本エクステリア支店 06-6479-3232 〒564-0052 大阪府北区中之島3-2-18

(住友中之島ビル1F)

・市場開発課 06-6479-3233

・景 観 課 06-6479-3233

九州エクステリア支店 092-523-8890

〒812-0016 福岡市中央区高砂1-9-3

(六月田ビル1F)

札幌支店 011-219-7511

東北住宅建材支店 022-297-3364

関越住宅建材支店 027-328-2881

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。

関東住宅建材支店

長 野 支 店

静岡住宅建材支店

中部住宅建材支店

大阪住宅建材支店

中四国住宅建材支店

九 州 支 店

特需営業総括部

03-3842-7123

026-224-2878

054-289-6117

052-731-1911

06-6390-1331

082-544-4134

092-523-7488

03-5759-2503